

教育推進部教育指導課

令和5年度 文京区教育研究奨励費受給者の決定について

1 丹羽教育研究奨励費（個人研究奨励）

〔受給者〕 文京区立第九中学校 山本 康太 主任教諭

〔研究主題〕 AI 英語学習プラットフォーム World Classroom を活用した中学校英語の授業—主体的に個別最適化学習を進める生徒の育成—

2 石黒教育研究奨励費（グループ研究奨励）

〔受給者〕 文京区立駕籠町小学校 星 智巳 主任教諭・他9名

〔研究主題〕 学びを紡いでいく児童の育成

文京区教育研究奨励事業（石黒賞・丹羽賞）について

令和6年2月

<石黒教育研究奨励賞・丹羽教育研究奨励賞の由来>

- 前身となる教育研究奨励賞は昭和37(1962)年より実施していた。
- 平成10年、元文京区立真砂小学校第10代校長 故石黒 ミナ 氏の遺志により、遺産管理人「石黒ミナ記念会」代表土屋公献氏より文京区の教育振興のための基金の寄付を受け、平成11年度から優れた研究成果をあげたグループに対して「石黒教育研究奨励賞」として授与することとなった。
(研究奨励費1グループ10万円 [平成16年度より])
※「石黒教育研究奨励賞」として今年度で23回目
(教育研究奨励賞として今年度で59回目)
- 丹羽教育研究奨励賞は昭和46(1971)年より実施し、今年度で50回目。
文京区教育委員会第6代教育委員長 丹羽 博 氏の遺志により、遺族より文京区の教育振興のための基金の寄付を受けたことに基づき、文京区教育研究奨励事業として、優れた研究成果をあげた個人に対して「丹羽教育研究奨励賞」を授与することとした。(研究奨励費1人5万円 [平成16年度より])
- 本研究事業は、自主的な研究グループや個人の育成をねらいとし、授業研究に基づいた実践的な研究を指導主事の指導・助言のもとに行うことにより、「文の京」総合戦略、基本政策1「子どもたちに輝く未来をつなぐ」及び文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」の具現化を図っている。研究成果は「研究の歩み」として各学校に周知する。